

# 【佐世保港】更なるクルーズ需要への対応

○官民が連携し効率的に施設整備を行い、国際旅客船の受入を促進するため、2017年に「官民連携による国際クルーズ拠点形成計画書(目論見)」に応募し、「国際旅客船拠点形成港湾」に指定。

## ＜佐世保港国際旅客船拠点形成計画＞

協定	佐世保市、カーニバル・コーポレーション & PLC(カーニバル社)
国際クルーズ拠点形成の目標	東アジアに近い地理的優位性を生かし、カーニバル社とともに日本に寄港するクルーズのゲートウェイ機能を有した拠点港として発展していくことを目指す。
寄港回数目標	395回(2024年)

### ◆三浦地区

○16万ト級クルーズ船に対応するための岸壁を2018年7月供用開始。



### ◆浦頭地区

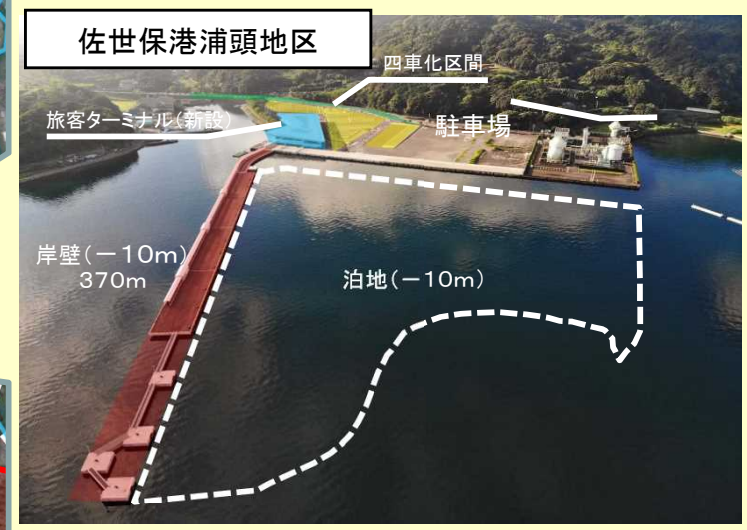
○カーニバル社が、東アジアクルーズの日本における拠点港として優先的に使用予定。

#### ◆岸壁

(16万トン級対応(計画))

#### ◆旅客ターミナルビル<カーニバル社>

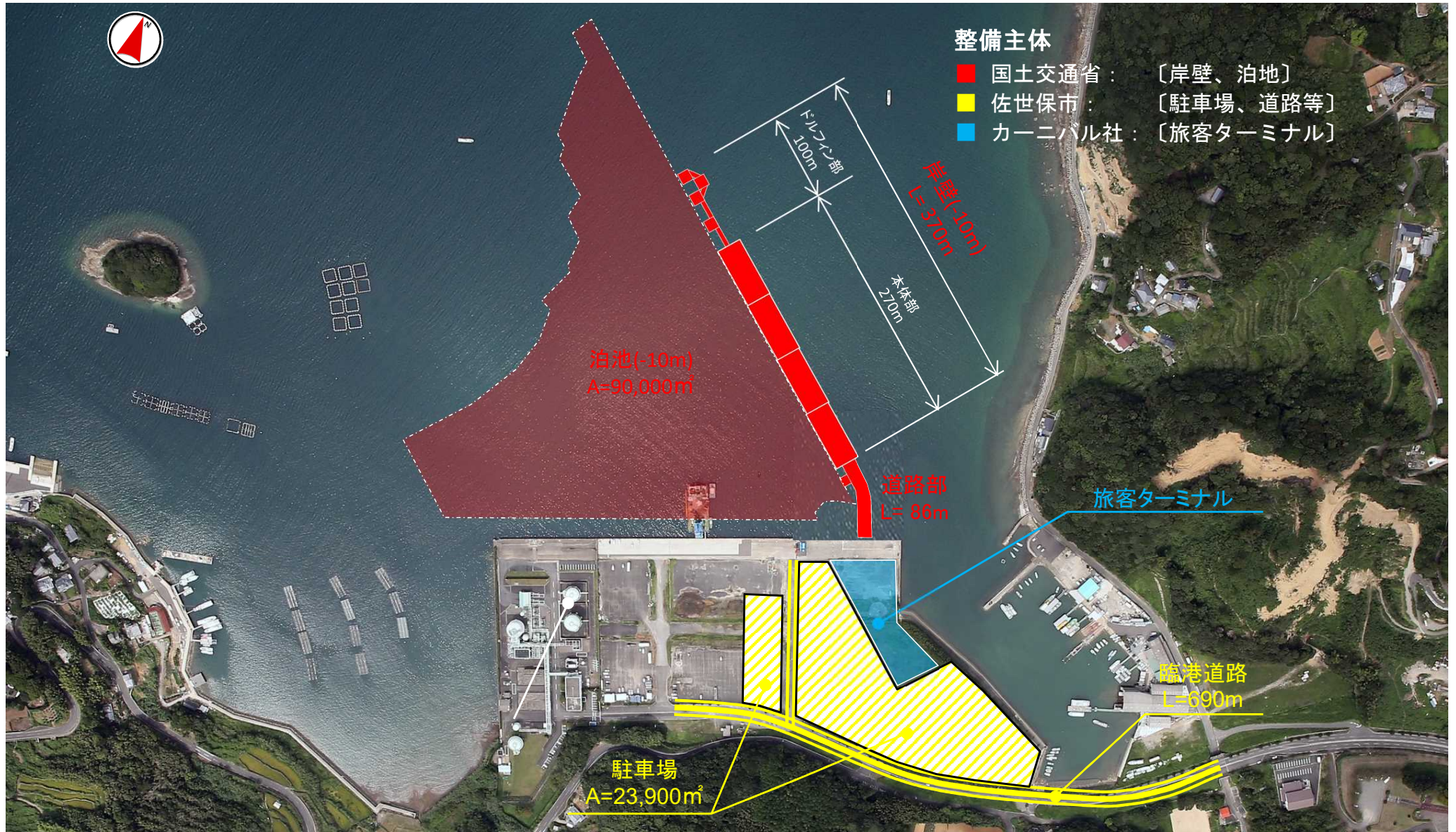
カーニバル社がCIQ施設を備えた旅客ターミナルビルを整備。





# 【佐世保港】(浦頭地区)官民連携による国際クルーズ拠点形成

- 佐世保港ではクルーズ船寄港が急増 (2013年:1回 ⇒ 2019年:79回)。
- さらに大型化も進展 (2017年:10万ト级以上0回 ⇒ 2019年:10万ト级以上40回(速報値)(約50%)。)
- 三浦地区では水深10m岸壁の一部が海上自衛隊との共同利用 ⇒ 寄港増加に対応できない ⇒ 新たなクルーズ岸壁が必要。
- 2017.7.26:「官民連携による国際クルーズ拠点形成計画書(目論見)」に応募し、「国際旅客船拠点形成港湾」に指定。
- 浦頭地区に16万ト级以上クルーズ船を対象に新たな岸壁を整備し、今後のクルーズ船の寄港需要に対応。





# 【佐世保港】クルーズ拠点整備事業 施工ステップ



鋼管杭打設



本體工(ジャケット据付)



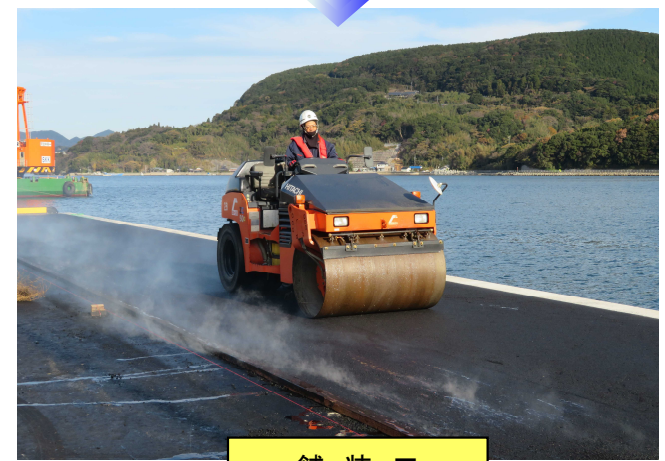
上部工



浚渫工



ドルフィン部



舗装工

施設名	工種	平成29年度	平成30年度				令和元年度			
		4/四半期	1/四半期	2/四半期	3/四半期	4/四半期	1/四半期	2/四半期	3/四半期	4/四半期
岸壁(-10m)	鋼管杭打設	→	→	→	→	→				
	ジャケット据付				→	→	→			
	上部工				→	→	→	→	→	→
	舗装工								→	→
	ドルフィン部						→	→	→	→
泊地(-10m)	浚渫		→	→	→	→				



# 【佐世保港】国際クルーズ拠点整備事業 (令和2年3月岸壁完成)



# 【佐世保港】前畑地区 予防保全事業の概要

○佐世保港前畑地区の背後には、JA北九州くみあい飼料(株)、西九州倉庫(株)が立地し、当該岸壁から荷役した飼料を西九州地区(長崎県、佐賀県)をメインに供給を行っており、畜産を支えている。

○岸壁(-10m)は建設後50年が経過し、栈橋式部の老朽化により一部利用制限がかけられている。平成28年度から、予防保全事業として岸壁改良工事(床版撤去・更新、鋼管杭撤去・更新、上部工嵩上げ等)を実施している。

